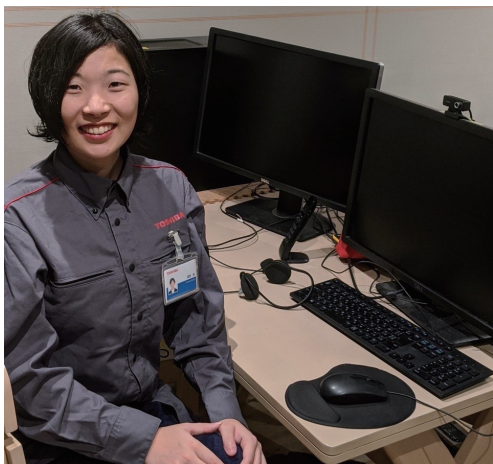


昇降機業界で活躍する女性の紹介

*Ele-Komachi*  エレ小町 No.30

1. プロフィール

名 前：菅野 悠  
 な ま え：かんの はるか  
 会 社 名：東芝エレベータ株式会社  
 所 属 部 署：営業技術統括部  
                   エンジニアリングセンター  
                   BIM設計担当  
 職 種：営業技術  
 入 社 年 度：2019年



2. 担当業務について

設計事務所や建設事業者様へ受注前の営業活動から昇降機的设计、技術提案を行う全国の営業技術部門のバックオフィス、およびBIMの専攻チームとして様々な要望に合わせたBIM提案を行っています。

学生時代は生物科学を専攻し、マウスを解剖して研究をしていました。そのため、入社後は機械と電気の知識も全くない状態でのスタートとなりましたが、周囲の方のサポートもあり、少しずつ業務への理解が深まってきました。特に2年目からは在宅勤務となり不安でいっぱいでしたが、対面時以上にコミュニケーションを密にとることで、滞りなく業務を進めることができています。

現在は3Dスキャンを用いたBIMレイアウト検討や搬出入検討、お客様が必要とされるモデルの詳細度に合わせたBIMパーツ作成を行っています。日々BIM活用の新たな可能性を模索し、昇降機業界に貢献していきたいです。

3. 趣味など

小学2年生からバレーボールを続け、現在は社会人チームで大会に出場しています。仲間と一緒に体を動かすことで、心身共にリフレッシュしています。チームには60代で大会に出場される方もおり、いくつになっても元気にバレーボールを楽しむ姿に憧れ、私の一生の趣味にしたいと強く思わせてくれます。

また、コロナ禍では新しいことにも目を向け、近くの公園で植物を写真に収めたり、週末にお菓子を作って食べながら読書をしたり、今までより日常が広がりました。何かとネガティブになりがちなご時世ですが新しい楽しみを見つけるきっかけにもなりました。大好きな旅行にはまだ行けそうにはありませんが、今だから出来ることを考え、自分の世界を広げていきたいと思っています。

4. 読者へのメッセージ

この1年で日常は一変し、色々なことを考える機会が増えました。その中で私は、変化した世の中に不便を感じるより、今の暮らしの価値を高めていくことが大切であると思いました。昇降機についても抗ウイルス、感染対策など、コロナ禍で新たに検討すべき課題が多々見つかりました。これらの解決はコロナ禍のみならず、その後の昇降機の発展にも繋がると私は信じています。

経験したことのない日常が続く今、新しく得た機会を力に変え、コロナ禍が明けた際、仕事でも私生活でも以前より求められる人間になれるよう努めていきます。

5. 上長のコメント

日頃から明るく前向きに業務に取り組まれ、コロナ禍の環境の変化に対しても周囲とのコミュニケーションを今まで以上に密に取り、新しい働き方を率先しています。また、趣味も充実され休日にしっかりリフレッシュし、ONとOFFの切替えができていますので安心してます。設計業務においては、妥協せず納得するまで検討し、課題を一つひとつ解決し、日々スキルアップしており、今後更なる成長を期待しています。